

景況レポート・11月

11月の県内景況は、 前月から引き続き曇り模様であるが、年末の回復に期待。

情報連絡員による平成25年11月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが44.1%（前月比+1.7）、「横這い」は20.3%（同-10.2）、「好況」は35.6%（同+8.5）となっており、業界全体の「景況感DI」は-8.5（同+6.8）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

- ◇「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」が前月と比較して減少しています。
- ◇「売上高」「販売価格」「取引条件」が前月と比較して改善しています。

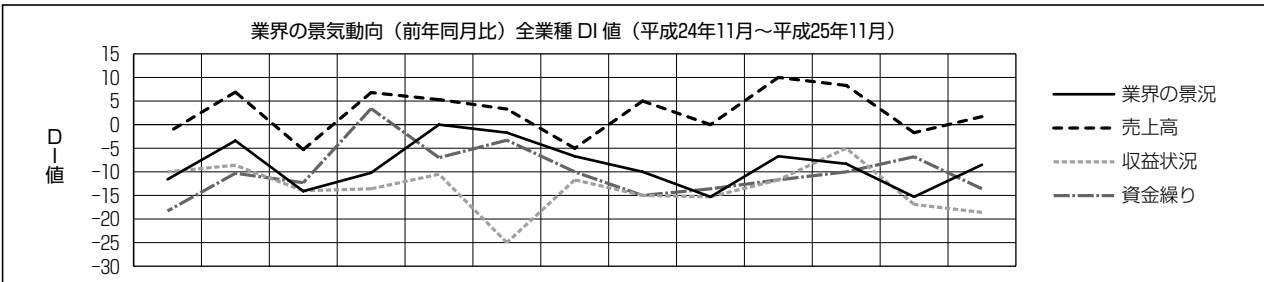
2. 業種別の「業界の景況」

- ◇前年同月と比較して、木材木製品製造業、鉄工機械製造業、建設業は「晴れ」、繊維製品製造業、その他の製造、卸売業、小売業、サービス業、は「薄曇り」または「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。
- ※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」
-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

3. 個別の報告の概要

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が28.8%（前月比+10.2）と増加しております（好転の回答1件、やや好転の回答16件）（製造業8、非製造業9）。また、やや悪化、悪化の見込みは、13.6%（前月比-6.7）と減少しております。変わらないが、57.6%（前月比-3.4）と減少しております。

平成25年11月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98.3%）



	平成24年11月	平成24年12月	平成25年1月	平成25年2月	平成25年3月	平成25年4月	平成25年5月	平成25年6月	平成25年7月	平成25年8月	平成25年9月	平成25年10月	平成25年11月
業界の景況	-11.6	-3.4	-14.1	-10.2	0.0	-1.7	-6.7	-10.0	-15.3	-6.7	-8.3	-15.3	-8.5
売上高	-1.7	6.9	-5.3	6.8	5.3	3.3	-5.0	5.0	0.0	10.0	8.3	-1.7	1.7
収益状況	-10.0	-8.6	-14.0	-13.6	-10.5	-25.0	-11.7	-15.0	-15.3	-11.7	-5.0	-16.9	-18.6
資金繰り	-18.3	-10.3	-12.3	3.4	-7.0	-3.3	-10.0	-15.0	-13.6	-11.7	-10.0	-6.8	-13.6

木材・木製品製造業

<製材業>

住宅建築の堅調による製材品需要の活発化により、丸太価格は一段と上昇している。このため製材工場は厳しい経営を強いられてきたが、ここに来て製品価格にも反映、急騰しており一息ついた感がある。

<外材輸入>

外材産地国はいずれも強気配で推移しており、仕入れ価格は高水準にある。国内需要は旺盛であるが、製品価格に転嫁しづらい状況が続いている。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、見積引合とも前月同様、横ばい傾向で推移しており、今期一杯は続くものと思われる。したがって、売上高・収益状況は前月と比較して横ばい・減少傾向であり、厳しい状況を引きずっている。

<精密機械製造業>

親企業の選択と集中の方針で、不採算事業の終了決定により、当協同組合の存続の可否が浮上しました。親企業からは、組合の解散を要請されました。

小売業

<石油>

11月は乱高下を繰り返す元売仕切にあって、販売価格は軟調に推移した。燃料油の販売量も伸び悩む中、マージン圧縮と厳しい経営状況にある。

<青果>

前月同様、低温、台風の影響もあり根菜類の単価が高騰していた。会津みらず柿の取り扱いも始まったが、気温の低下からか、色づきが悪く出荷が遅れたため、単価が値崩れすることなく取引された。ただし数量は昨年と比べると減少した。来月からりんご・みかんの取り扱いが始まるので年末に向け、少しでも取り扱いが増加してくれることを期待している。

<電機>

10、11月の各地の合展、個展があり石油などの値上げによりエアコンの売上が例年に比べ良くなっている。また、26年4月からの消費税値上げ前に購入しようと考えている方が若干でてきている。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

客の入りが少ない。来月からは冬のイメージがあるため、さらに客が減り売上も減る。

<砕石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 変化なし
2. 当月売上高の昨年同月比 約7%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約50%の増
4. 原因・状況 前月と同じ放射線工事関連と災害復旧工事等の出荷となった。

<生コン>

平成25年11月の組合員生コン出荷数量は、189,257 m³と対前年同月比20.5%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比10.0%の増、官公需が26.9%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 11.0%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 16.3%の増

ニトリ福島店新築工事、ラコパふくしま新築工事等

<県中地区> 12.2%の増

デンソー東日本本社工場増設工事、郡山メガソーラー発電所新築工事等

<白河地区> 20.1%の増

工場、倉庫新築工事等

<相双地区> 25.0%の増

原発保安対策工事、常磐道浪江地区舗装工事等

②対前年同月比減少地区

<いわき地区> 1.6%の減

工場新築工事等

<会津地区> 5.3%の減

会津中央病院増築工事、老人ホーム新築工事等

■官公需の動向

対前年同月比 26.9%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 45.4%の増

再生可能エネルギー研究施設工事、阿武隈川本宮地区樋門築堤等

<いわき地区> 9.4%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 67.5%の増

海岸保全施設整備工事、公共災害復旧工事等

<会津地区> 16.7%の増

喜多方市役所新築工事、会津北縦貫道路工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 3.8%の減

栗子トンネル2期工事、月館高架橋下部工事第2工事等

<白河地区> 8.8%の減

工場の森新白河造成工事等

印刷業

<印刷>

印刷業界の景況は一進一退の状況で、震災前の水準にまだ戻っていません。

繊維・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の追加注文が好調である。

<縫製品>

11月も受注状況はあまり良くなかった。しかし2014年春夏物の受注が動き始めたので、12月以降の生産に期待している。

食品製造業

<漬物>

人が全く集まらない。どんどん社員やパートが減っていく。全体的に大企業の雇用が大幅に増えている。中小企業には人が集まらない状況が続くと思う。

<味噌醤油>

上半期の味噌・醤油は出荷量が減少、特に醤油の減少は著しく深刻な状況。風評被害も含め、組合員の売上減は今後も続くと思われる。少しでも出荷量が増加してほしいと願っている。

<菓子>

消費税8%が決まってからは景気が悪くなっているような状況で、これからの見通しは見当がつかず、対応に困っている。

<酒造>

純米酒の伸びが好調。ギフトの伸びは良くないが、市場での伸びに期待している。(11月、12月で年間の28%出荷)

<食品団地>

原油、原材料の高騰が続き、天候も周期的に変化したため売上は減少した。イベント等もスポットでの開催が多いため、継続的な需要に向けた展開や対応が必要である。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

トラック運送業界では、営業利益悪化や改善が進まず、体力を取り戻す有効な施策、燃料費や高速道路利用料金等の低減対策を望む声が出ている。

(県中地区)

人手不足が深刻で、お客様からの輸送ニーズに応じきれなくなっています。

<ハイヤータクシー>

前年並みの動きが2カ月続いたが、今月は減少となる。選挙で出控えがあったか。12月は年末で動いてほしいが、例年厳しい状況である。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

廃旅館の営業再開のための準備がなされるなど、復興が進んでいる。また、最後まで残った震災の被災建物の解体も始まり、次年度に新しいまちづくりがスタートする。

<理容業>

11月に入って急に肌寒さが増してきた。前半はまだよかったが、後半は暖房も入れた。毎年のことだが、肌寒くなると客足は減る。11月はどの店も暇なようだった。コンスタントに忙しい商売になるよう努力しているが人間の心理は寒くなると髪が少し伸びても気にならない。暑いときはさっぱりしたいため回数は増えるが…。髪を切らなくとも肌のケアや癒しのメニューを増やし、ご利用いただけるよう頑張ることを勧めている。

<廃棄物収集運搬業>

当組合は相馬市から発注の環境関連事業を多く行っています。現在は資材、燃料等の値上がりにより原価が上がっております。どこまで行政と調整できるかは不明ですが、公共事業の単価設定のスピードを上げていくことを要望したいです。(県単価を基準にしているため)

建設業

<建設業>

(県一円)

国土交通省は、被災地で予想される公営住宅・戸建住宅など、土木工事に加え建築工事の増加に向けて主任技術者の専任配置要件の緩和措置を拡充して地方整備局、都道府県、建築業団体に通知した。具体的には、近接した工事で主任技術者が原則2件程度の現場を兼務できる工事現場相互の間隔を5km程度から10km程度にした。(技術者不足による不調不落対策として)

(県南地区)

通常の土木工事が前年に比べ減少している。民間建築工事が一段落して、新たな受注が減少している。除染業務が多く発注され、この売上がメインとなっている。

<管工事>

前月比で給水設備、排水設備申請とも増加。前年同月比累計対比でも増加している。

<専門工事>

年末に向けて現場の人員不足がますます顕著になっている。宿泊施設も満杯の状態にあり、人員を確保しても連れてくることのできない状態にあり、物理的にも金銭的にも調整が困難な状態になっている。もっと具体的で現実的な計画を提示してもらえれば、長期的な観点で設備投資や人員投入を実施することが可能になると思われるため、政権による目の前の都合ではなく、国家行政としての長期的計画を指し示してほしいと考える。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

年末に向け、モノの動きが加速している。今年は例年よりもやや強めの動きにあるようだ。業種によって、活況を呈しているところとそうでないところの開きが大きいが、全体としてはそれほど悪くはない。ただし、仕事を多く抱えていても適正な利益を確保しにくい環境は依然続いており、いまだデフレ脱却の糸口をつかめないでいる。大都市圏において、多くの業種が回復基調であるため、地方へ波及してくることを期待する声が高まっている。

<再生資源>

11月後半より、製紙原料の価格が上向いてきたが、発生量は依然として減少しているため、パイの取り合い、過当競争がさらに激しくなってきた。鉄価格も上昇傾向であるが、発生量不足は依然続いている。メーカーは、4月からの消費税増税に向けて、増産体制に入中、今後の原料不足が懸念される。

商店街

<福島市>

11月は、天気が穏やかだったこともあり、市民の通行者が増えた感がある。また、「福島駅前元気づけプロジェクト」の一環として、ほぼ毎週末に通りを利用しイベントが行われた。イベントへの参加者並びに見物客で、いわゆる“街なか”ににぎわいを感じさせた。しかしながら、それが経済効果をもたらしているかどうかは微妙なところ。大型店やイベントへの来客は増加しているが、これをいかにシャワー効果並びに経済的につなげていくかが今後の課題である。

<郡山市>

11月初めには、商店街最大のイベント「ウィンター・フェスティバル」があり、今年は天気に恵まれたのもあり今までで最大級の人出があった。近隣商店街および商工会議所との連携は今まで以上に集客に貢献できた感じがする。さらに、うすい百貨店の催事は、上旬の「サザエさん展」が好評で商店街は大きな賑わいを見せた。後半は全体に伸び悩みでしたが、それでもひと月としては前年比増になった。12月は歳末お歳暮の季節ですが、11月の伸び悩みがどこまで影響するのかが気がかり。

<南相馬市>

地域商店街活性化事業も終了し、年末商戦は市商店連合会と協同で、金額に応じた福引を実施した。今後の年末年始に歩行者、お客様が増加することを期待している。

<会津若松市>

買い物客が少なく、物販は苦戦している。来月は早々にイルミネーションを飾りつけ、年末商戦を盛り上げたいと思う。

<いわき市>

商店街としては、特に何もしかけることもない11月。全体としては「よくも悪くもない」という印象であるが、前半は寒い日もあり冬物を求めるお客様にお越しいただいている。下旬から年末ジャンボ宝くじが発売され、今年は例年になく並ばれる方が多く、日が良い日は街なかが渋滞している。昼間のお食事などで商店街には恩恵があるが、物販となると今ひとつ。我々の努力不足を感じる。

景況天気図 11月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴	30以上	☁ 曇り	-30~-10未満
☀ 晴	10~30未満	☔ 雨	-50~-30未満
☁ うす曇り	-10~10未満	☔ 大雨	-50未満

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☀ -28.57	☁ -57.14	☁ 0.00	☀ 28.57	☀ 14.29	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ -14.29	☁ 0.00	☔ -42.86
繊維製品製造	☀ 33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☀ 33.33	☁ 0.00	☀ 33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 33.33	☁ 0.00
木材製品製造	☀ 50.00	☁ 0.00	☀ 50.00	☀ 75.00	☀ 25.00	☀ 25.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☀ 25.00
鉄工機械製造	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 20.00	☔ -40.00	☁ 0.00	☔ -40.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☀ 20.00	☀ 20.00
その他の製造	☁ 0.00	☀ 33.33	☀ 16.67	☀ 50.00	☁ 0.00	☁ -16.67	☁ 0.00	☁ -16.67	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00
卸売業	☀ 25.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☀ 25.00	☔ -50.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ 0.00
小売業	☀ 33.33	☁ 0.00	☀ 11.11	☀ 22.22	☁ -11.11	☔ -44.44	☁ -11.11	☁ -22.22	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -11.11
商店街	☔ -50.00	☀ 16.67	☁ -16.67	☁ -16.67	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☔ -33.33
サービス業	☁ -14.29	☁ 0.00	☀ 14.29	☀ 28.57	☁ -28.57	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ -14.29	☀ 14.29	☁ -14.29	☁ 0.00
建設業	☀ 40.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☀ 20.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☀ 20.00	☀ 40.00	☀ 20.00	☀ 20.00
運輸業	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -100.00	☔ -100.00	☔ -100.00	☔ -100.00	☔ -33.33	☔ -66.67	☔ -66.67	☔ -66.67

2013年度人事労務管理セミナー開催のご案内

公益財団法人産業雇用安定センターでは、この度福島県経営者協会連合会様との共催にて、人事労務管理セミナーを以下の通り開催いたします。

内容 メンタルヘルスマネジメントセミナー



『メンタルヘルスマネジメントと元気な職場づくり』

講師 杉江 伸一郎氏

大手電気メーカーで人事・労務・採用・教育や事業部の経営管理に長く携わり、産業雇用安定センターでは企業間交流セミナー、リーダーシップスキルアップセミナー、メンタルヘルスマネジメントセミナー等で講師を務め「楽しくわかりやすいセミナー」として親しまれています。

開催日時 平成26年1月20日(月) 13:30~15:30

開催会場 南東北総合卸センター 第7会議室(3F)
郡山市喜久田町卸一丁目1-1 TEL 024-959-6001

受講料 賛助会員 3,000円 一般 5,000円(税込)
経協会員

【お問合せ先】



公益財団法人
産業雇用安定センター
福島事務所

TEL 024-523-4520 FAX 024-523-4521

